

**県図書館大会で表彰**  
**「おじやはんか入来かたいもんそを」**  
 年齢や職業もさまざまなメンバー23人からなる同グループ(代表・泊盛夫)は、「心にじんこくるもの、心がほっとするもの」をおはなしのテーマに、図書館ポ



「おじ、読書。」  
 今年度の読書週間が、10月27日(木)～11月9日(水)は、読書週間です。  
 全世代の方々に読書の楽しさを伝え、本に親しむきっかけを作っていたらと、「文化の日」を中心にした2週間を「読書週間」と定めており、今年で70回目を迎えます。  
 近年は、電子メディアなどの充実で、活字に触れる時間が少なくなっているといわれています。この機会に、自宅や職場でのちょっとした時間や寝る前に、本を手に取ってみませんか。また、外出の際は書店や図書館に立ち寄ってみてください。読みたくなる本が見つかるかもしれません。本は、ページを開くことで未知の世界が無限に広がる魔法の道具です。  
 皆さん、いつでもどこでも

**「大活字本」を活用ください**  
 「小説などの一般的な本は、活字が小さくて読みにくくなってきた」と感じて

ランテアを行って  
 特に、入来町の学校や幼稚園、図書館、入来分館などで本の読み聞かせや紙芝居などのおはなし活動に力を入れています。  
 これらの活動が評価され、11月9日(水)開催の県図書館大会において、優良読書活動団体として表彰されます。  
**「県図書館大会」に参加しませんか**  
 県内の読書活動を推進するため、読書活動に関心のある人が一堂に会し、「時代が求める図書館のあり方」をテーマに開催されます。  
**【対象】** なたでも  
**【参加費】** 無料  
**【問合せ】** 中央図書館  
 電話(22)3542

次のとおり上映します。  
**【時】** 10月22日(土)10時～11時  
**【所】** 中央図書館3階研修室  
**【内容】** 子ども映画(アニメ)  
 いじわる狐ランポーのうそ  
 ちびまる子ちゃん  
 恐怖のにわとり小屋そうじ  
 トム・ソーヤの冒険  
 トムとハックとブタ騒動  
**【定員】** 先着30人  
**【中学生以下(保護者同伴可)】**  
 \* 申込不要  
 \* 参加無料  
**【問合せ】** 中央図書館  
 電話(22)3542

**わくわく薩摩川内土曜塾 「わくわく図書館」**  
 「大活字本」とは、原本の内容は変わらずに、文字の大きさ、行間などを調整し、大きな活字で組み直した図書です。  
 いる方はいらっしやいませんか。そうした方にも、読書を楽しんでもらうためにお勧めしたいのが、大きな活字で読みやすい「大活字本」です。このコーナー(中央図書館2階)には、現代小説や時代小説、エッセイなど約600冊があり、人気作品も随時取り揃えています。



\*「大活字本」とは、原本の内容は変わらずに、文字の大きさ、行間などを調整し、大きな活字で組み直した図書です。

中央図書館から

今月のおすすめ本

**絵本**  
**あたまたにかきの木**  
 小沢 正文  
 田島 征三 絵  
 (教育画劇)  
 酔っぱらって柿の種を飲み込んだじろべえさん。種は、頭のてっぺんから芽を出して、ぐんぐん伸びて大きな柿の木に。そこで、柿を売ることになりましたが…。

**児童書**  
**アンティーク・シオンの小さなせき**  
 茂市 久美子 作  
 黒井 健 絵  
 (学研プラス)  
 どんな物にも、持ち主の忘れられない物語があります。森の中のお店「アンティーク・シオン」で繰り広げられる不思議で心温まる物語。

**一般書**  
**あなたの夜を安らげる100の言葉**  
 いろは出版 編  
 (いろは出版)  
 世界中の夜景が輝く瞬間を捉えた絶景写真に、偉人たちの名言「100の言葉」が添えられています。眠れない夜はこの本を開いて、心安らぐ世界に浸ってみませんか。

**一般書**  
**「食事」を正せば、病氣、不調知らずのからだになれる**  
 秋山 龍三  
 草野 かおる 著  
 (ディスカヴァー・トゥエンティワン)  
 現代は「食」の誘惑がいっぱい! 日々の食生活を振り返り、日本人が昔から食べてきた物の「力」を見直してみませんか。何をどう食べるべきか、豊富なイラストとともにお伝えします。

行こうよ図書館へ



23歳以下の選手で構成する全日本チームの合宿が、8月17日(水)～25日(木)までサンアリーナせんだいで行われました。

9月14日(水)からベトナムで開催されるアジアカップ女子大会に向け、選手・スタッフが一丸となって、激しく厳しい練習を行い、大会に備えていました。



全日本U-23  
 女子バレーボールチーム合宿



8月22日(月)から島根県隠岐の島で開催された第9回全国離島交流中学生野球大会(通称：離島甲子園)に、甌島チームが出場しました。

1回戦は西表島チームに11対0で大勝。2回戦で惜しくも三宅島チームに敗れましたが、この2カ月間、厳しい練習に耐え、つかんだ1勝は一生の思い出となることでしょう。



2016夏 離島甲子園  
 思い出の1勝



8月16日(火)、薩摩川内警察署管内交通安全会議連合会などは、鹿児島国体が開催される2020年までに市内の交通事故死者ゼロを目指すとして、市内のバスやタクシーの車体に貼る啓発用のマグネットシートを提供しました。これは、川内大綱引にちなんで交通安全を呼び掛けたもので、筆文字で重要性を訴えた川内高校書道部に対し、感謝状が贈られました。



交通事故死亡者ゼロを目指し  
 「大綱引」で交通安全



▲(株)バイテックファーム薩摩川内 代表取締役 今野宏晃氏(写真右から2人目)

8月23日(火)、市役所本庁で、(株)バイテックファーム薩摩川内との立地協定調印式がありました。同社は、国の「産地パワーアップ事業」を活用し、入来工業団地内に完全閉鎖型植物工場を新設されます。

本市におけるさらなる雇用の創出や地域経済の発展が期待されます。



(株)バイテックファーム薩摩川内と  
 立地協定締結



川内中央中学校吹奏楽部が、8月16日(火)に来庁されました。これは、県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、県代表として九州吹奏楽コンクールに出場することを受けてのものです。後日行われた九州吹奏楽コンクールでも金賞を受賞し、今後のさらなる活躍が期待されます。



市内の中学校で  
 初の快挙

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ、投稿ください。